

県老人医療費助成制度の存続・拡充を求める署名

山梨県知事 横内 正明殿

国は2008年4月より、70歳から74歳までのほとんどの方の医療費本人負担を、いまの1割から2割へと引き上げます。すでに年金の削減や、住民税増税などで、高齢者の暮らしは厳しくなっています。このうえ医療費負担が2倍にされたら「お金がなくて医者にかかれぬ」事態に追い込まれてしまいます。

山梨県は、68歳、69歳の非課税者を対象に医療費を助成しています。高齢者の医療費負担増を抑えるため、この医療費助成制度を存続・拡充することは多くの県民の願いです。

以上の趣旨により、次のことを求めます。

要請事項

- 1、県の68歳、69歳医療費助成制度を存続してください。
- 2、同制度の対象を、74歳まで広げてください。

氏名	住所

取扱団体

65歳医療費助成制度を守る署名

甲府市長 宮島 雅展殿

甲府市は、65歳以上の人の多くを対象に、医療費本人負担を1割に減らしています。これは、全国に誇るべき制度で、医療を受けるたびに「甲府に住んでいてよかった」と感じる市民は少なくありません。

国が高齢者の医療費などの負担を増やすなか、市民の暮らしは厳しさを増しています。こうしたときだからこそ、甲府市の65歳医療費助成制度を、現行制度のまま、堅持することを求めます。

要請事項

現行の高齢者医療費助成制度を堅持してください。

氏名	住所

取扱団体